

1. 文化行政に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	伊丹の文化行政におけるアイホールのシンボリックな役割を考慮していますか？	本市には多くの文化施設があり、演劇ホールも含め、それぞれの目的に応じて運営しているところです。
2	資料P.14 「市民利用率は演劇団体の力で向上させる」「指定管理委託料は経営改善で経費縮減」とあるが、市の文化行政としての取り組み方針を具体的にお聞かせ願いたい。市としての役割は？それをどのように果たす方針なのか？	「伊丹市の文化振興施策にかかる指針」において、①文化芸術が身近にあるまちをめざします、②人と人がつながる場所として文化施設を活用します、③市民の主体的な文化活動を支援します、④賑わいづくり、伊丹ブランド構築の一翼を担います、⑤公共施設マネジメントに基づき施設の有効活用を図ります、という基本方針を定めています。これら5つの基本方針に基づいて文化行政を進めています。
3	前提/用途が演劇ホールであるのに、なぜ用途変更が必要でしょうか？演劇が基幹事業であり、その前提での事業改善をなぜ市として取り組まないのでしょうか？	市民利用率の低さや多額の指定管理料、施設の老朽化などの課題があることから、様々な観点から検討が必要となっています。
4	伊丹市の文化教育の予算を削減する施策か。今後、伊丹の文化教育行政はどうなるのか。 費用について、自主事業、共催、提携事業は、伊丹ホールやアイフォニックはあるのか？そこも含めて予算を比べて欲しい。今日の説明、議員のニュースで勘違いする人もいる。教えてほしい。	伊丹の文化教育行政は演劇ホールのみで行うのではなく、本市の文化施設全体で考えていきます。費用については、文化会館や音楽ホールにおいても、館としての自主事業、市が共催する事業を行っていますが、団体による一般利用者も多くあります。しかし、演劇ホールは一般利用者が少ないことから利用料金の収入が低く、市が負担しているというのが実態です。
5	市民の利用率について、ピアノやコーラス、吹奏楽の発表会があれば、出演者・関係者も多くなるため自然と市民の利用率が上がります。 そういった中で、市民利用率や低コスト以外の評価として、利用内容における実績の評価は他館はどのようになっているのでしょうか？	文化施設は市民利用施設であることから、多くの市民に文化に触れていただき、文化活動に参画していただくことが重要であり、そのような目的に沿った運営を行っております。演劇ホールも同様ですが、そういった点においては限定的なものとなっています。
6	兵庫県の動き(演劇が学べる大学開校や県立劇団の継続)と逆行する動きだと思います。このあたりはどのようにお考えでしょうか？	演劇文化を否定する考えは全くありません。今後も、様々な観点から検討するとともに、県などとも連携し、文化の振興に努めていきます。
7	伊丹ホール、アイフォニックホール、アイホール、この3つの中でここ10年は伊丹ホールへよく見に行っています。過去には綾小路きみまろ、吉本新喜劇、今年は春風亭一之輔さんなど、著名なアーティストがきたら、市民も足を運ぶと思います。	文化3館のあり方を検討する中で、施設の利用状況や収支の状況などを考慮し、市民に魅力のある文化が発信できるように努めます。
8	兵庫県は演劇専門の大学をつくり、演劇に対して熱心だと思うのですが、市で負担することが困難であれば、県に任せてはいけないのですか？ その検討、相談はしていないのですか？	県も含め、様々な方面へのご協力のお願いは、適宜、行っているところです。しかしながら、演劇専門のホールを引き受けていただける場所は現時点ではありません。

1. 文化行政に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
9	文化教育施設を単独市で担うのは大変なので、近りん都市と連れいして担うべき	各市とも、それぞれの文化施設の中で演劇事業を行っており、演劇専門のホールをともに運営していただけるところは現時点ではありません。
10	文化を潰すのではなく、アイホールを活かすためには、お金の出どころが必要なんですね。これは県や国を含めての考え方が必要だと思いますが、国や県はなんといわれていますか？ これは伊丹市限定の財産ではないですよね。次世代にもつなげる地域の財産ですから、活かすために頑張ります。潰したら、二度ともう出来ませんよ。	演劇ホールは市の公共施設になります。そのため、市で運営しなければなりません。県などへの協力依頼は行っていますが、県においても演劇ホールを持っていること等から、運営に関する更なる援助は難しい状況です。
11	共催や提携という形で利用料の減免をうけて公演をしてきた劇団は、アイホールにお願いされて公演してきました。 15ページの受益者負担の適正化の説明で減免を受けている団体に料金を支払わせるとおっしゃられました。共催や提携がどのようなものかきちんと説明されず、いかにも、演劇人が自分たちの思うままに利用してきたというように聞こえたのですが、どのように認識されているのでしょうか。	これまで、市外の演劇界のお力を借りて本市における演劇事業の普及に努めてまいりました。しかしながら、約30年が経過し、様々な課題がある中、市の公共施設としてのあり方を検討するに至ったものです。
12	指定管理者である文化スポーツ財団は説明しないのか？ 伊丹市と財団は連携は取れているのか？	市と財団と連携のもと検討を行っています。
13	自主・共催・提携公演という劇場から発信される事業がないまま貸館のみの運営になることは、公共ホールとしての役割を果たしていないように思います。公共ホールの役割とは部屋を貸し出すだけではなく、施設が主体となってその施設のもつ特色や役割(アイホールにおいては芸術・文化、演劇)が市民に提供されるべきです。そしてそれはひとつの市だけで抱え込むものでもありません。芸術文化の振興をどの様にお考えですか。 事業費削減というホールを運営するにあたり重要な内容について、伊丹市はアイホールや財団と顔を付き合わせ、三者のなかできちんと対話をし、合意がとれた結果と思ってよいのでしょうか。まさか一方的に通達したわけではないと思っていますが。	市民アンケートの結果を踏まえ、経営改善を行うとともに、文化3館のあり方も含め、多目的用途についても引き続き検討することとしました。存続を希望される団体にはその旨を説明させていただき、利用についても協力いただくと回答をいただいています。 今後のあり方についてもしっかりと検討していきます。
14	演劇事業を継続してほしい。	説明会で申し上げたとおり、当面、市としては施設管理を行う上で、演劇界の方に活用いただくこととしています。今後は、文化3館のあり方とあわせて検討していきます。

1. 文化行政に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
15	<p>演劇をしている人の意見を尊重して頂きたいと思います。</p> <p>以前は「劇場都市伊丹」という声もあり、市民中心の演劇集団が活発に行われていた時もありました。演劇の役者の関係者も多数見に来られており、大変楽しい時を過ごせました。子供も大変上手に役をこなしていることにも驚きました。感心しました。大人になってもこの経験は大きなものになるだろうと思いました。その様な中でアイホールができたことは劇場都として文化力のある伊丹になると期待しました。この様な演劇が市民によって上演される環境があれば大変いい人間関係ができると思います。</p> <p>又、内容によって子ども大人も大変勉強にもなりますので、上演できる環境をぜひ伊丹で深めてほしいと思います。その楽しみのためには、税の投入も必要。高齢化社会にはより楽しめる文化が必要だと思います。子ども達にも本物の文化を与える事は大事な事ではないですか。</p>	<p>演劇界のご意見が重要であるとは認識していますが、市の公共施設であり、市民の税金で運営している以上、市民ニーズを的確に捉え、その方向性を決定していきたいと考えています。</p>
16	<p>市民15%の中に中高生、高齢者の参加が多いと思いますが、もっと大事にして欲しいし、内容について知りたい。</p>	<p>15パーセントのうち、主な内訳ですが、10代が一番多く、次に、50代、40代の順となっています。いただいている内容は、多岐にわたっており、公演に対する感想や今後のご希望などをいただいています。</p>
17	<p>3年間の猶予期間で文化庁助成金のおりない状況下、公演できる劇団の上演回数は減ることが予測される。</p> <p>中高生向けのアイフェスでは、講評をきかせてもらえる</p> <p>演劇人の公演を見ることを希望すると考えられるが、それが叶わなくなるのではないかと？</p>	<p>今後、様々な演劇団体にご利用いただきたいと思いますと考えており、そのような中でいわゆる「演劇人の公演」もご覧いただけるものと考えています。</p>

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	<p>来年度からの3年間、指定管理料をいくらにするのか？</p>	<p>アイフェスとそれに関連する事業を実施することとしていますが、それ以外の市民還元が図られないものにつきましては、実施しないものとして、現在、検討中です。</p>
2	<p>アイホールの仕事内容には大きく</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自主事業 ■ 貸館業務 <p>の2つがあり さらに自主事業には</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アイホール主催 ● アイホール共催 ● アイホール提携 <p>の3つがあり この自主事業を30年間やり続けてきたことで一定のクオリティを保ちアイホールブランドとして世間からの評価を受けてきていたと考える 文化創造、文化発信の拠点として多くの演劇人がアイホールに魅力を感じ集い交流してきた 今回の伊丹市の提案はこの自主事業をバツサリ切って貸館業務だけにしようとしているものと理解するがそれは市民としてはとても残念に思う</p> <p>せめてお金のかからない自主事業を模索するために コーディネーターと事務スタッフを置いてもらえないか？ それに加え 運営に協力する市民や演劇人が参加できる企画委員会をアイホール側で受け入れてもらえないか？ あと アイホールのクオリティを保つため 共催提携についてはそれほど経費がかかっていないのでこの枠組をそのまま残してもらえないか？</p> <p>以上お聞きしたい</p>	<p>今までの共催事業は、使用料の全額減免や諸経費等を含め演劇ホールの負担が大きいことから、経営改善が必要と考えています。自主事業で行っていた事業については、演劇界の協力により継続できるものは継続していただくようお願いしているところです。</p>
3	<p>ホール名からして、演劇に限定されている印象です。もと音楽ライブ等の多目的に使用できることをアピールすべきだと思います。 音楽でもロックやジャズなどの軽音楽のライブができる ホールは不足しております。 そこにターゲットすれば、利用率は上がると思います。使用料ももう少し高く設定すればいいと思います。市民だけでなく、広く集客もできると思います。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。参考にまいります。</p>

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
4	<p>アイホールの今後3年間の事業継続が決定したとお聞きしました。しかし、現状では事業費が一切出ない状態で、ハコだけ残した状態ですね。本来でしたら財団、演劇人とともに話し合って事業費の全額を決めるべきではないでしょうか。あまりに乱暴なやり方であると思います。</p> <p>また、事業費が全額カットになるという情報はアイホール側への事前連絡は一切なく、アイホール側は市民団体から事業費が全額カットになったことを後で知ることになった形です。その結果、アイホール側は次年度の決まっていた事業を全て見直すことになりました。伊丹市側はアイホール、引いては文化スポーツ財団の立ち位置をどうお考えですか？また、アイホールとやりとりして経営を改善していこうという意思はございますか？</p>	<p>いたみ文化・スポーツ財団とは、これまでから経営改善策を含め協議を行っており、今後も引き続き協議を行ってまいります。</p>
5	<p>アイホールは現状、利用料が高く、若手の劇団には利用しにくい劇場となっています。アイホールの利用料を低くして利用者の幅を広げ、回転率を上げるということは可能ですか？</p>	<p>演劇ホール開設以来、使用料の値上げはしておらず、現行水準に照らしても、決して高いものではないと考えております。</p>
6	<p>アイホールをとりあえず存続させるという説明のようだが、その内容は、自主事業を行わない単なる貸館として存続させるというものだ。自主事業の財源の一部ともなる文化庁補助の申請期限が今日である。これで、自主事業の手当が途切れたと言える。</p> <p>これで実質的に単なる貸館となることが決まり、アイホールとしてのこれまでの実績を放棄してしまった。伊丹市にとって大きな財産の損失となるようなことをこのような形で決めていいのか。議会では、文化庁補助申請の締め切り間際に議会の協議会で説明しただけで、全議員に報告せず、議論もしていない。単なる貸館では関西の演劇聖地として認め活動してきた演劇人が去ってしまう。こうした文化的損失に対してどのように考えているのか。また、これからアイホールをどのように発展させようとしているのか。</p>	<p>説明会でも申し上げましたとおり、今後、演劇界の活躍の場として施設の提供を行ってまいります。演劇文化のあり方につきましては、文化3館のあり方を検討する中で、引き続き検討していきます。</p>
7	<p>今後のアイホールの展開に演劇界の役割を求めているが、アイホール側が事業に主体性を持つべきなのに、なぜ演劇界に役割を転嫁するのか。</p>	<p>経営改善が求められている中、演劇ホールを維持していくためには、それぞれが役割を果たしていかなければならないと考えています。</p>

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
8	<p>アイホールは開館当初より、独自性が高く、質の高い事業を自ら企画してきた、全国でも珍しい公共劇場です。プロデュース及びディレクションした事業を自ら行ってきたことが、アイホールのアイデンティティを確立し、演劇人だけでなく、鑑賞者や研究者・ライターをはじめとする専門家たちの信頼を得て、高く評価されてきました。そして、演劇を行う者は、そんなアイホールが企画する事業に仕事という形で参加できることに喜びを感じ、また、共催や提携という形で、創作費を自分たちで賄い、赤字を抱えながらの実施であっても、アイホールから招聘されて、自主事業としていれてもらうことは、誇りでもありました。</p> <p>自主事業をなくし、貸館事業で運営するということは、ホールで実施される事業たちはディレクションされることがないため、独自性や質が担保されなくなり、演劇人や鑑賞者、専門家たちの信頼や評価を失うことにつながります。</p> <p>信頼や評価を失ったホールは、他のホールとの差異がなくなるため、演劇を行う者はアイホールで赤字を抱えながらもここで公演をしたいという理由を見つけることができません。</p> <p>今後、伊丹市はアイホールをどのように位置づけ、どのような目標・目的を持ち、また、それらを達成するためにどのようなことをやっていくのでしょうか。そして、これまで得てきたアイホールの信頼や評価を維持させていくつもりなのでしょうか？維持するのであればどのように維持していくのでしょうか。</p> <p>今後のアイホールの市民利用率を演劇団体の力で向上させると記載されていますが、これまで通り自分たちで資金を用意し、赤字を抱えて公演を行う演劇人たちに責任を負わせているのではないのでしょうか。</p> <p>これまで市民利用率が低かったことなど、アイホールの運営に関しての責任はどこにありますでしょうか。またこれからのアイホールの運営は誰に責任があることになりますか。自分たちで資金を用意し、自由に活動ができる権利がある演劇人が、なぜ自らの意思でなく、市民利用率や地域への貢献度をあげなければ責任を負わされる必要があるのでしょうか。</p>	<p>市の公共施設である演劇ホールは、利用者が負担する利用料金と市民の税金で運営している施設です。これまでも税金を投じ、様々な事業展開を図ってきましたが、今般、施設を維持していく上で、市民ニーズも踏まえ、経営改善のもと運営することとさせていただきます。今後も引き続き文化3館のあり方を含めて、検討していくこととしています。</p>
9	<p>15ページ、人材育成が市内に還元できていたあとのことですが、高い質のアウトリーチやワークショップの提供が出来るのは、人材育成の成果ではないか。人材育成なくして高い質のアウトリーチをどう残すのか？考えを聞かせてください。</p>	<p>今後は、学校側のニーズに応じ、必要な支援を行っていくこととしています。</p>
10	<p>アイホールのイベントホールを利用を希望する団体に対して、減免の条件として、市民向けのワークショップを提供してもらうのはどうか？</p> <p>ワークショップ参加者には割引などすれば、観客動員にも一役かうのではないかと考えますが、いかがでしょうか？</p> <p>名前の通った劇団、俳優さんなどについては、アウトリーチ事業にぜひかけていただき、マスコミへアピールおよび、観客動員にもつながっていくかとおもいます。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。参考にまいります。</p>

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
11	<p>市としてはアイホールの中高校生向け事業、ワークショップなどについて評価されていると見受けるが、それら事業の講師やスタッフはどのような方が担当されているかは理解されているか。</p> <p>講師たちはアイホールで公演を行なっている劇団関係者たちである。しかしアイホールの事業において謝礼額は破格の額で請け負ってもらっている。これは、講師を担う演劇人が所属する劇団公演において、アイホールの手厚いサポートがあるからである。よって、市が評価している事業と劇団公演は切り離せないものであり、どちらかだけを求めるのは困難である。演劇は人と人との関係性が非常に大切であり、それが成り立っている業界である。今まさにコミュニケーション能力の欠如が社会問題とされているなか、演劇はそれに対する一つのアプローチである。ビジネスライクなスタイルでは、立ち行かなくなる。</p> <p>さらに、市内の他の施設に比べ、国等の助成金獲得額ははずば抜けており、他のどの施設よりも外部資金を得ており、必ずしも税金に頼り切っているわけではなく、一律に経費のみで比較するのであれば、外部資金獲得の比較もするべきではないか。演劇事業を続けるというのなら、演劇人との良好な関係性構築は不可欠。</p>	<p>演劇界の協力があること、また、演劇ホールの努力により多くの助成金を得ていることは承知しております。しかしながら、これらの助成金を得るためには多くの事業を申請する必要があり、結果として、経費が膨らみ、多額の指定管理料が必要となっていることも事実であることから、見直しを検討しているものです。演劇界とは今後も良好な関係を構築したいと考えています。今後、文化3館のあり方も含めて引き続き検討していきます。</p>
12	<p>単純に、伊丹市民全員が一度は行ったことのある場所にする必要があると思います。</p> <p>小学生、中学生が人生に一度、日本人のシャイな気質を忘れるほどの演劇体験を、本物のホールで経験してほしい。</p> <p>社会にでても、家庭をもっても、相手の気持ちを想像する、何者かになりきるといのは人生を過ごしていく上でとても有益です。</p> <p>各小学校、中学校での文化鑑賞会などもよいですが、ぜひ人生に一度、小劇場に足を踏み入れて、その魅力を知ってほしいです。観劇よりもワークショップがよいと思います。</p>	<p>ご案内のありました各小学校、中学校へのアプローチについては、必要に応じて市教育委員会と協議していきます。</p>
13	<p>コロナ禍を経て、舞台・演劇等をめぐる環境は大きく変わりました。新しく発信していくスタイルとして、動画配信サービスやデジタルアーカイブ化など、今後求められる技術を取り入れて行くべきではないのか？</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。参考にしております。</p>
14	<p>共催・提携団体に会場料金を文化庁に申請をお願いしたとのことですが、来年度は何団体の上演を予定していたのですか。また、みなさん納得されているのでしょうか。来年度の公演を辞退された団体はないのでしょうか。</p>	<p>各演劇団体が申請中ですので、詳細は承知しておりません。</p>
15	<p>3年間継続ということ、演劇ラボラトリー等は開催を続けられますか？</p>	<p>当初予算編成に基づいて検討してまいります。</p>
16	<p>伊丹市→県立もしくは民営化、国のお金を入れてもらう仕組みを。</p>	<p>県も含め、様々な方面へのご協力のお願いは、適宜、行っているところです。しかしながら、演劇専門のホールを引き受けていただけたところは現時点ではありません。</p>

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
17	伊丹に住んで数十年になりますが、アイホールを知ったのは5年ほど前です。まず、知らない人が多すぎる。市民に施設を知ってもらうことから始めたほうがいいのでは。	文化施設それぞれに市民にPRしてまいりましたが、演劇ホールについては、低い認知度になっているのが現状です。今後も引き続き取り組んでいきます。
18	演劇界の役割(協力)に実現性のある案出していれば教えて欲しい。	現在協議中ですが、演劇界での呼びかけにより、利用の協力をいただけるとの回答をいただいています。
19	有名な役者の公演も行う等すれば、市民にメリットある。演劇界にはその方面と集客アップに取り組むをして欲しい。	ご意見いただきありがとうございます。参考にしてまいります。
20	市担当者の課題解決に対する創意工夫はどうなっていますか？課題として具体的に説明して下さい。特に費用負担について。	説明会で申し上げたとおり、当面、市としては施設管理を行う上で、演劇界の方に活用していただくこととしています。今後は、文化3館のあり方とあわせて費用負担についても検討していきます。
21	「焼肉ドラゴン(中村地区)」「丈夫な教室(付属池田小事件)」のような、伊丹市民が考え続けなければならない事や「ハード」やコロナに関わる演劇など問題提起の劇、日常にかまけてしまいがちな私をゆさぶってくれたアイホールの演劇。これからの時代、演劇が教育や市民交流に果たす役割は大きなものがある。(質問)この改善計画で9000万円の市のもち出しはいくらになるのか、9000万円との差額はいくらなのか、それで劇団はこれまで通りの上演は出来るのか、劇団は出来ると言っているのか。	アイフェスとそれに関連する事業を実施することとしていますが、それ以外の市民還元が図られないものにつきましては、実施しないものとして、現在、検討中です。
22	伊丹市内15%は少な過ぎる。中高生向けの内容を多く取り入れる。	ご意見いただきありがとうございます。参考にしてまいります。

2. 3年間の継続期間中の事業内容に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
23	<p>今後のアイホールの運営について、財団、市民、行政の連携、主導権、責任の所在など、どのような形で進めるか、それらを踏まえた、伊丹市の施設の考え方、今後の方針、目標について伺いたい。また、これまで、演劇界には、アウトリーチ共催や提携など、伊丹市の立場で、劇場を使ってほしい、という声掛けや依頼をしながら伊丹を盛り上げてもらってきた。自主活動にも積極的にご協力頂き、伊丹の子供たちにも、ワークショップや教育現場へのアウトリーチ事業でも支援頂いてきた経緯があり、これまでのご協力ご支援にこの場をお借りし感謝申しあげたい。今回のアイホールの経営を含め、伊丹市の幼稚園や病院、共同利用施設の統廃合、みやのまへの再整備等、各種施設は、伊丹市の算出した費用や利用状況、あらゆるデータで、どんどん変わっていく流れが出来てきた。これらの公共施設については、今後も、市民を置き去りとは言わないが、市民目線の考え方ではなく、役所に人たちが考えた、伊丹市の方針にはない、税金をたくさん使ったアンケート等で、どんどん進められてきた。その一例としてアイホールでも、市民利用率や年間費用、補修費がクローズアップされ、反響の大きさに役所のみなさんもあわてて、渡辺えりさんと会ったり、平田オリザさんに助言を求めたりと、この2～3カ月の急展開ののち、今回、このような説明会が開催されることになったと考えている。今後は、このようなことのないよう、文化3館を含めスポーツセンターや体育館、公民館等の施設は、集客状況、利用率等、具体的な数値が出てきて、それを目標に施設の活性化やまちづくりを進め、伊丹を盛り上げていくことを要望したい。今後のことも踏まえ施設毎の方針や目標値も聞きたいが、今日はアイホールについて。①今後の集客状況や市民利用率等の目標値、この数値をクリアしたたこうなる、クリアしなかったらこうなる、こうなった場合こうなる、というような、伊丹市が考えている目標の数値の確認とクリアできなかった場合の責任のどこか②目標を達成するための行政や財団の文化教育に対する運営方針、と考え方、アイホールと財団、行政はどのような連携をするのか、そこに市民は入るのか？またその主導権、窓口はどこか③今後、演劇人には、どのような形で協力をお願いし関わり深めていくか、について伺いたい。</p>	<p>説明会で申し上げた通り、市は演劇ホールを維持していく中で、演劇界の方に協力をいただくことで経営改善を行い、当面、運営していくこととしました。今後、引き続き文化3館のあり方について検討していく中で、皆様のご意見を伺いながら、進めていきます。市民利用率や収支状況はもちろん、今後、様々な視点から検討していきます。</p>

3. まちの賑わいに関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	平田オリザさんが勉強会で指摘した「文化観光」という観点で、演劇ホールが持つ可能性について、どのように認識されているのか。また、演劇ホールの廃止が、その点にどのように影響すると考えているのか。	中心市街地に立地するという観点から、この施設が観光を含むまちのにぎわいに資する可能性がある施設であると認識しています。また、演劇ホールが廃止されたとしても、演劇を含めた様々な文化の振興を図ることによりまちのにぎわいは創出できるものと考えています。
2	商業者の観点から「味わう舞台」などお店と一緒に展開する、優れた取り組みが文化庁補助金がなければ出来ないと考えているが、自主事業なし補助金申請なしでは話しにならない。その事業についての評価と今後について聞きたい	文化庁の補助金を活用した事業につきましては、これまで一定の成果があったものと認識しています。しかしながら、市民意識調査の大半が経営改善及び用途変更を求められている中、今後、これまでと同じ方法で文化庁の補助金を活用した事業は行わないこととしました。商店連合会をはじめ、商業者の皆さまにもご協力をいただきながら、今後は、文化庁の補助金に依存しない事業展開を図っていかねばならないと考えています。
3	これまで演劇ホールが、地域の活性化や経済に対して、どのような波及効果をもたらしていたと認識しているのか。また、演劇ホールの廃止が、その点にどのように影響すると考えているのか。	演劇ホールがまちのにぎわいに一定の役割を果たしてきたと認識しています。しかしながら、演劇の性質上、開館日が限定されるとともに、市民利用率が低いなどの課題があり、その効果は限定的であると認識しています。
4	関係人口から考えると、アイホールは十分に活用されているのではないですか？	演劇ホールは、市の公共施設であることから、関係人口をもって判断するものではないと考えています。演劇という文化を通じて、多くの市民に還元されるとともに、多くの市民が参画することが重要であり、その点においては、十分に活用されているとは言い難いものと考えています。
5	JR伊丹駅近くというアクセスの良さ、著名な劇団の公演も多いとあれば、市外・県外からの利用者が多いのは当然。 認知度アップ・稼働率向上の努力もしてほしい。	市外からの来館者が多いことについてはご指摘のとおりです。しかしながら、この施設は市の公共施設であることから、併せて市民利用が図られなければならない施設であると認識しており、今後は、演劇界の協力もいただきながら認知度・稼働率の向上に努めていきます。
6	元々市外の人利用を目的に考えていた(劇場文化都市)のだから市外利用者が多いのは喜ぶべき	
7	市外からの集客施設としてとらえる発想もありませんか。 3館協力してアフターステージの飲食をしてもらい、伊丹市にお金をおとしてもらえるでしょう。	市の公共施設であることから、市民サービスの提供が行われることが第一義です。そのうえで、当分は中心市街地活性化協議会や商店連合会のご意見を聞きながら運営していきます。
8	元々市外の人利用を目的に考えていた(劇場文化都市)のだから市外利用者が多いのは喜ぶべき	開館当初は、本市において演劇文化が根付いていないことから、市外の方のご協力も得ながら施設を運営してきました。しかしながら、本来は、市の公共施設であることから、今後、将来にわたり市外の演劇団体や利用者を支援するものではないと考えています。今後、アイホールの運営における賑わいに係る事業については、中心市街地活性化協議会や、商店連合会のご意見などを頂きながら行っていきます。

4. アンケートに関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	以前市民の方3000人に無差別にアイホールに関するアンケートのハガキを送られていたと思います。質問内容を新聞で拝見したところ、アイホールを演劇ホールとして存続させることに対して後ろ向きな印象を抱かせるようなものばかりだと感じましたが、あちらはどういったお考えのもと作成されたのでしょうか？	市民意識調査のハガキには、「これまで専門的かつ独自性の高い事業を実施し、芸術文化の分野で高い評価を得てきました。」と記述したうえで、調査を実施するにあたり市が考えている問題意識を記載しました。また調査結果を統計的にみると、市民約20万人を母集団とし回答数870で信頼度95%とすると、許容誤差は3%となり、十分有効な調査結果であると考えています。
2	市民アンケートはアイホールの運営にかかる費用が赤字でかなり強調されており、かなり誘導的なアンケートであったと記憶しております。また、伊丹市民全員の意見は反映されていません。あのアンケートは有効と言えるのでしょうか。	
3	アンケートをするときは、悪いことばかりではなく、良いことも書いてアンケートして欲しい。誘導してないか？ 悪意はないか？	
4	市民アンケートについて 継続審議(16%)が「アイホールを存続させたい」24%に入っていないのはおかしい。 恣意的だと思います。	「継続審議」に回答いただいた方の自由記述では、演劇事業の継続・用途変更両方のご意見を頂いております。(市民意識調査の結果をご参照ください)

5. 用途変更に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	<p>働く女性増に伴い、共働き世帯が大幅に増えている中、またコロナでオンライン化が急激に進む中、働く親が安心して預けられる子供の居場所の一つとして、アスレチックといったものではなく、演劇と教育(ダンス・プログラミング・英会話・リトミック等)を軸に運営してはいかがでしょうか？</p> <p>当然、市内・市外ともに、有料で収益性のあるものとし、維持費等をカバーするものとしします。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。 残念ながら、芸術文化・スポーツの範囲で公募したサウンディング型市場調査においては、事業者からそのようなご提案はありませんでした。</p>
2	<p>提案プラン3社とも若年層をターゲットにしているが、中高年齢層の利用は考えていないのか。。</p>	<p>若年層向けサービスを市が条件としたものではありませんが、文化芸術・スポーツをの範囲で公募したサウンディング型市場調査では、結果として各者ともファミリー層をターゲットとした提案となっています。</p>
3	<p>アイホールの立地場所の特性、駅前の一等地を理解されていますか？</p>	<p>芸術文化・スポーツの範囲で公募したサウンディング型市場調査においては、民間事業者は立地場所の特性等を十分理解して提案を行っているものと認識しています。</p>

6. 公共施設マネジメントに関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	いたみホールは震災で壊れて立て直しているから、それを並べて老朽化をうたうのは少し視点が違うように思います。 私は今日、アイフォニックホールに初めて入りました。劇場活用用の検討は、ただ駅前で立地がいいアイホールだけでなく、伊丹にあるすべてのホールで検討されるべきと考えます。	文化3館(文化会館・音楽ホール・演劇ホール)全体で文化事業を考えていくこととします。
2	利用市民アンケートで3館を比較し、利用率をみているが、キャバが違う3館を比較する意味がないのではないかと。 一人当たりのコスト比較も事業内容が違うのに比較する意味はない。幼稚園と保育所のコスト比較をするようなものではないか。	文化3館の比較において、文化会館と音楽ホールは市民利用率と一人当たりコストは同等となっています。施設規模やサービス内容は異なるものの、同種の3施設を比較することは十分意味のある分析であると考えています。
3	伊丹ホール、アイフォニックホールと比較した利用率やコストの差は、施設規模の違いから同列で考えるのはおかしいと思いますが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか？	
4	市の説明からは、演劇は金がかかる、市民が利用しない、不必要だ、としか聞こえてこない。一方で、アスレチックやストリートカルチャーが悪いとは考えないし、今後の市民ニーズもあるだろう。同じ土俵にこれらに乗せてどちらが良いか比較する市のやり方に疑問を感じる。見解は？	演劇事業は規模や演目を見直して、文化会館など別の施設への機能移転を検討しています。 その上で、演劇ホールの新たな活用内容を提案しようと考えているものであり、演劇事業を不必要としているものではなく、アスレチックやストリートカルチャーと並べて比較はしておりません。
5	サウンディング調査で述べられている、意見や助言は誰が発言に責任を持ち、どの程度尊重されるものなのか？これまで市内外から評価されてきた演劇事業を行ってきた市に対し、その業績を真っ向から否定された見解と考える。市の見解は？	今回のサウンディング型市場調査は、事業発案段階において市が提示した前提条件をもとに各民間事業者から示された提案です。 サウンディング型市場調査では、時代とともに変化する市民ニーズに対応していくため現用途にとらわれず、立地や地域特性、ホール空間など施設の特徴を最大限に活かした資産活用について提案を求めたもので、これまでの市の取組を否定するものではないと認識しています。
6	②より高い市民利用率は、ほんとに必要でしょうか？マネジメントの視点に立てば、演劇ホールへの市外からの集客に市が積極的に取り組むべき。それを行わないのであれば、利用者のアイデアに市が委ねるべき	公共施設の評価は様々な視点がありますが、演劇ホールの場合は、市民利用率が低いうえに、利用者一人当たりのコストが高いことが問題であると考えています。 当該施設を観光資源ととらえた場合には、市外来館者の獲得は成果であるものの、かかるコスト(一人当たり2,255円)は過大であると考えています。
7	公共施設が多すぎるのでは	今後も公共施設マネジメントを推進してまいります。
8	9000万円は個人としては高額だが、演劇ホールとして高いのか？その辺りの比較はないのでしょうか？市庁舎は140億円、市民病院は400億円で改修をしている。アイホールが140年、400年運営できると思うと、9000万円が1人歩きしている様に思う。	演劇ホールは市民利用が低い一方で、演劇界において重要な役割を果たしてきました。 年間9000万円の市民負担が高いかどうかは、演劇界を支えるために使われている経費という視点で市民の皆さんがどう感じているかの問題であると考えています。

7. 継続期間中の検討に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	資料P.18-19 文化3館施設の維持運営を引き続き検討するというのですが、今後の検討フロー（手順、スケジュール）はいつ市民に示されますか？	文化3館のあり方については、演劇ホールを用途変更した場合の新たな市民サービスの内容と演劇事業の機能移転の具体像が必要であると考えています。また、比較対象として演劇ホールを演劇事業として継続していく場合の、事業内容や運営経費、さらに舞台設備改修の見直し後の姿も示す必要があります。こうしたことから、次年度からの新たな事業展開により、演劇ホールに対する市民意識がどのように変化していくのかを見極めながら、定量的な評価だけでなく定性的な評価も含めて検討を進めてまいります。
2	今後のアイホールの運営について、財団、市民、行政の連携、主導権、責任の所在など、どのような形で進めるのか、それらを踏まえた、伊丹市の施設の考え方、今後の方針ら目標について伺いたい	
3	演劇関係者による市民参加の促進や事業費の見直しをするために、今後3年間は様子を見るとのことですが、どの程度の値をもって用途変更に踏み切るといった結論がなされるのでしょうか。	
4	今後の集客状況や市民利用率などの目標値、この数値をクリアしたらこうなる、クリアしなかったら、こうなる等、伊丹市が考えている目標の数値の確認たらクリアできなかった場合の責任の所在	
5	市長は「市民や議会の意見を聞いて、決定していく」との見解を述べているが、まずは予算編成権を持つ自ら市民に対しプランを示すべきと考える。見解は？	市民意識調査の結果では、過半数が用途変更を求めていましたが、議会や市民からの意見あるいは演劇界との対話を踏まえ、先送りではなく経営改善しつつ当面の間事業継続し、引き続き検討していく方針を決定しました。
6	市民のマインドの変化なんかに期待してはだめですよ。決めるべきは行政がきちんと決めないと。	
7	3年間先送りではなく、事業計画を早急に出していただきたく希望します。	20万人都市として市民理解の得られる演劇事業のあり方について、また持続可能な行政サービスを提供するための文化3館のあり方について、具体案をお示しできるよう、検討を進めてまいります。
8	資料P.19 現状の課題に「市民利用率向上」を上げておられるが、この設定自体に無理があるのでは？市民のみならず、全国、全世界から来訪者を招く施策に設定し直すのが妥当ではないか？ 市民利用率向上について、イメージを明示していただきたい。	市の公共施設であることから、まずは、市民のニーズに応じたサービスを提供することが求められます。そのうえで、さらに市外の利用が促進されることを期待しているところです。
9	アイホールの演劇事業は市内外から高い評価を受けてきたと説明にあった。今回の説明会は市が、市の調査状況を基に行ったが、評価をしている演劇関係者によるアイホールのあり方や運営面での改善点の提案や説明を受ける機会を設けるべきと考える。見解は？	引き続き文化3館のあり方を検討する中で、様々なご意見をお聞きしたいと考えています。
10	今後、演劇の機能を検討するにあたって、専門家の意見も聞く必要があるが、どのように考えているのでしょうか？	必要に応じてお聞きしてまいります。
11	「運営に関して今後も検討を重ねていく」ということだが、アイホールの今後の経営改善によっては事業費が市から出るという可能性はあるのか。	文化3館のあり方を検討するなかで、市民ニーズに応じた事業展開を図っていきたくと考えています。
12	伊丹市民は現時点で演劇とは無縁の方が多いためアンケート結果だと思います 伊丹市民が他市より演劇に親しめるようにして 演劇の町にする選択肢はありませんか？	演劇に特化するのではなく、様々な文化を市民の方に提供していきたくと考えています。
13	目標を達成するための行政はどういう連携をするのか、そこに市民は入るのか？その主導権、窓口はどこか？	当面の間、演劇ホールを運営しつつ、その状況を見極めるとともに、今後、文化3館のあり方を検討するなかで、必要に応じ、意見をお聞きしていきたくと考えています。

7. 継続期間中の検討に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
14	今後、演劇人には、どのような形で協力をお願いし関わりを深めて進めていくか？	説明会でも申し上げましたとおり演劇界の多くの方に施設を利用いただき、運営を進める中で今後のあり方についても、ご意見を伺ってまいります。
15	管理委託料がなければ、成り立っていない。3~4千万が実態収入なのでは。見合った支出になる事業検討したほうがよい。	継続して検討いたします。

8. 演劇事業の移転複合化に関すること

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	<p>いたみホールにおいて演劇事業を継続するという案も示されているが、それに要する事業費はどの程度を見込んでいるのか。アイホールで必要な年間事業費9千万円を削減できるということを演劇ホール廃止のメリットと表明しているようですが、演劇事業を継続するとすれば実際に削減できると見込んでいるのはいくぐらいなのか。また、事業費を削減しても、現在と同様の事業効果を生むことができると考えているのか。</p>	<p>文化3館のあり方を今後検討していく中で、具体的な費用を算出していきます。文化会館に機能移転する場合は少なくとも演劇ホールの管理費が削減されることとなります。事業については、様々な意見を伺う中で今後検討していきます。</p>
2	<p>アイホールの機能を他の文化施設に移設するという案があるが、その工事にかかる費用や年間にかかる費用は本当にアイホールの工事よりも安くできるのか。</p>	<p>現在の演劇ホールの広さや舞台設備を全く同じ形で他の文化施設に移設することはできませんが、今後の演劇ホールの運営におけるニーズ等を踏まえ機能移転のプランも検討してまいります。</p>

9. その他

No.	ご意見・ご質問	市の回答
1	アイホール内のジャズ喫茶ステージに対して追い出しを要求したと聞いているが本当か	現在、ジャズ喫茶部分については、行政財産使用許可として、毎年度の申請に対して1年単位で許可を行っています。 本来、行政財産目的外使用許可の更新を行わない場合、市からの事前の通達は必要ありませんが、長年、営業をして頂いている事業者様に対し、形態の変更の可能性をお伝えしました。
2	資料P.8 数値資料に単位がありません。単位:千円ですか？	お見込のとおりです。
3	資料P.9-10 当該サウンディング市場調査(令和2年度・令和3年度)の費用について、開示請求は可能ですか？	調査や検討にかかる詳細な資料等につきましては、情報公開の手続きをとっていただくことにより、開示が可能です。具体的には市役所2階総務課の窓口で情報公開の請求を行っていただくこととなります。
4	【無駄な経費について】 当該施設の見直しについて、 1.方針に従いサウンディング市場調査を実施 2.結果を不用意に発表 3.市民を中心として署名活動が発生 4.演劇関係団体からも意見具申が行われる 5.3,000名対象にアンケートを実施 6.本日11月19日市民向け説明会を実施 7.方向性の再検討、3年間で限度として結論を先延ばし この流れの中で、無駄になった経費(上記1)、余分にかかってしまった経費(5.6)、3年間に発生してしまう維持費(7)の開示を要求したいです。 どのような手続きを取ればいいですか？	
5	アイホールを廃止することで、浮いた税は具体的にどのような市民サービスに変えられていくのでしょうか？減税に繋がるのでしょうか？	演劇ホール機能が移転されたとしても、演劇事業は実施していくことから、すべての事業費がかからなくなるわけではありません。社会ニーズに則した税の用途を十分に検討することになると考えます。
6	現施設は一旦解体、3～4年の期間をとって、マンション等利益を生む建築物の一角に新アイホールを建設してはどうか？又は集客力のある施設など今の場所は市内で一等地に近いので	現在の施設は区分所有建物であるため、市の判断のみで解体することは不可能です。

9. その他

No.	ご意見・ご質問	市の回答
7	色合いの違った質問です。 地域の防災拠点としての活用についてもご検討いただきたい。 共同利用施設についても集約統合に伴い避難所が縮小されていく状況の中、アイホールを避難場所の拠点として活用していくことが望ましいと考えます、	伊丹市では、地域の防災拠点として、中学校・小学校を位置づけています。
8	市民利用率をはかるアンケートは、任意回答によるものであり、実際の利用率とかけ離れているように思います。改修費の4億も、実際は1.7億に引き下げが可能と、3つの課題として取り上げるには数字の精度が低く、印象操作のように思います。精度の高い数字を出すように要求します。	指定管理者による利用者アンケートは、毎年実施しており数値に大きな変動はありません。 また、舞台設備改修費用4億円は、保全計画として各メーカー等からの概算見積もりによるものです。
9	市民の利用率15%が一人歩きしている	事業構想を検討する場合、一般的には概算により費用をつみあげるため、現段階において精度の高い数字は必要ありません。 なお、舞台設備改修費用の見直し案として、演劇界から提示された1.7億円は説明会資料にあるとおり、可動床の廃止以外は更新時期の変更が主な相違点であることに留意が必要です。
10	伊丹シティフィルの補助金も削減すべきでは。施設使用料全額免除である上、補助金700万円近くを得ているところの説明は？ あの公演クオリティではいかがなものか。	伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団については、公演だけでなく、市内の学校行事や福祉施設など様々な場所で、市民が生音楽に触れる場を提供するなど、活動を通じて、市民が音楽を楽しみ心が豊かになれる時間や機会を数多く作り出されています。市民生活への貢献も大きい、これら活動を支援するため、補助金を交付しています。

10. ご意見

No.	ご意見	市の回答
1	司会者はマイクを使うべきでした。早口でした。聞き取り難しかったです。年配の方も多いので。	ご意見いただきありがとうございます。参考にさせていただきます。
2	伊丹市のやり方は全く恥さらしそのものだ。 市民や利用者に銃口を向けて、さらには首を絞めていくやり方が市長の言う市民の声を聞きながら議論を重ねていくというものなのか？ 最低と思わないか？伊丹市民でいることがいやになった！	ご意見として承ります。
3	「演劇」と限定しているように思えるので、多目的に使用できるようにアピールすると良い。特に音楽(軽音)のホールが不足しています。クラシック専用ホールは公共ホールに多いが、ロックやジャズ、ポップスを演奏できるホールが足りません。尼崎のピッコロは出来ているのに、伊丹が出来ない事はないと思います。将来に向けて、広く多目的に使用(ダンスイベント)出来るホールを目指して欲しいです。期待しております。	ご意見いただきありがとうございます。参考にさせていただきます。
4	まずは、現在の形態を維持するために必要なもの(金額+α)をおきかせ頂きたい。その上で、いつまでにどのぐらいの目標を達成すれば良いのか、様々な方法を検討していくべきかと思えます。本ホールは、まず重要文化遺産という共通認識をもつべきかと思えます。予算の面でいえば経費を少しでも抑える(利用率アップ)方法として①まず、クラウドファンディング+ふるさと納税で寄付を集める②財団を設けて寄付金運用を行う③公演をオンライン公開(有料)、ユーチューブ(広告あり)での公演一部公開。演劇に関わらず、ダンス、ライブ等での利用をより推進する。④現在市内では年間通じて様々な祭り(バル、屋台村etc)があるが、それとタイアップして市民稼働率を上げる。・アイホール以外(いたみホールは商業演劇中心)は主に音楽中心であるため、これがなくなると芸術の面からバランスが非常に悪いと思えます。特にいたみホールは大ホールは大きすぎ、地下ホール、6F中ホールでは、演劇のための設備がないため演目が非常に限定される。・「演劇専用ホール」とあるため敷居が高くなっているが、別の用途(ダンス、ライブ等)でも使用可であることを意外に一般の人々は知らないのではないか。→広く告知の必要あり。・施設使用料(市民以外利用)は値上げの検討をしてもよいかと→市街利用者は市民の5割増で利用して頂いているので、更なる値上げは厳しいかもしれません。そうなれば、市内利用者に対しても負担増を求めなければならないかと思えます。演劇の教育的効果(自己肯定感、いじめ防止効果etc)は計り知れないものがあります。また、地方公共団体が運営する演劇ホールは全国的にも数少ないため、全面的な用途転換はすべきでないと考えます。運動施設はどこでも(民間の倉庫等)あり、わざわざここを使用するのは？	ご意見いただきありがとうございます。参考にさせていただきます。